

編集後記

- 「紀要」四十七号をお届けいたします。
- 三輪は法所員の巻頭論文は、日蓮聖人が「開目抄」に、「法相と三論とは八界を立て十界を知らず」と批判された箇所注目し、この「八界」がどのように解釈されているのかを考察した論考です。
- 研究生諸氏の一年間の研究成果の一部を掲載しました。読者諸兄の御批正を賜りますようお願いいたします。
- 二十一号より日蓮聖人・日蓮教団史研究雑誌論集目録を掲載しておりますが、本号では令和元年に発表された論文を収録いたしました。お気付きの点がありましたら研究所まで御一報くださいますようお願いいたします。
- 本号の史料紹介では、京都市左京区の日蓮本宗本山要法寺に所蔵される『当家肝要文集』写本を翻刻しました。『当家肝要文集』は、南北朝期に活躍した中山門流の学僧、本行院日堯（一三九六）によって編纂された要文集です。本書にみられる広範な文献から引用された要文の数々は、当時の日蓮門下における学問研鑽の実態を知るための重要な手がかりとなるものです。本書の全容が明らかになったことにより、今後、教学・教団史の幅広い研究分野に大きな進展をもたらすことが期待されます。貴重な史料の調査及び本誌での公刊を御許可いただきました日蓮本宗管長・本山要法寺貫首丹治日遠殿下、日蓮本宗務総長田中英潤上人（当時）をはじめ、要法寺関係者各位の御厚情に拝謝申し上げます。
- 本号の紙面を借りて、日蓮教学研究所の規程、および『日蓮教学研究所紀要』編集規定を掲示させて頂きました。ご照覧ください。
- 本誌の題簽は、日蓮宗第四十二・四十四・四十五代管長、大本山池上本門寺第八十世貫首金子日威殿下の染筆による

ものであります。

○本年度の訃報 平成三十一年四月二十八日に当研究所客員所員池上尊義先生が、令和元年十月三十日に当研究所客員所員高橋堯昭先生が、令和二年一月十日に当研究所客員所員今成元昭先生が御遷化されました。謹んで増円妙道をお祈り申し上げます。

執筆者

三輪 是法（日蓮教学研究所所員）

戸田 教敏（同 宗費研究生）

堀内 紳行（同 研究生）

堀江 瑛正（同 宗費研究生）

清水 祥華（同 宗費研究生）

有村 憲浩（同 宗費研究生）

セレーナ・オペレット

本間 俊文（同 研究生）

令和二年三月十一日 印刷
令和二年三月十五日 発行

非売品

編集兼 発行人 寺尾 英智
東京都品川区大崎四―二十一十六

発行所 立正大学 日蓮教学研究所

東京都品川区西五反田八―七―十一
印刷所 株式会社 イーフオー